



笑顔で利用者さんと関わる

トを使つたり易しい言葉に置き換えるなど、相手に合わせて説明の方
法を工夫することは、なかなか理解が進まなかつた「合理的配慮」の提
供のトレーニングにもなり、職員た

【外国籍の職員と共に】
令和3年5月現在、啓光学園に10名、啓光えがおに9名のワーカメイト（外国人労働者）が働いています。ベトナム、ミャンマー、ネパールと様々な国籍のワーカメイトは生活支援職員として、障害に関する知識を学ぶと同時に、日本の習慣や言葉など現場で研修を受けながら利用者支援にあたっています。

ワーカメイトたちの存在は、人材

を補うだけではなく施設に様々な効果をもたらすことになりました。

その一つは、研修を担当する職員たちが単にマニュアル通りに業務を説明するのではなく、利用者さんが何を求めているのかを伝え、時には一緒に考えることによつて自らの支

◇国際色豊かな支援の場に： ～ワーカメイトを受け入れることで生まれた効果～



援を振り返るなど、これまで以上に利用者さんのことを考えるようになり、それが担当職員の成長のチャンスとなつたことです。

次に、研修資料を作る際にイラス



実技研修の様子（啓光学園）PTによる技術指導とともに実際に被介護者になって支援を体験

啓光だより

発行元

社会福祉法人啓光福祉会
東京都多摩市和田一七一七
〇四二 三七五 七三〇三

ちが身を以て理解する機会になりました。

【成長を皆で喜ぶ】
一生懸命に仕事を覚えて成長していくワーカメイトたちの姿は、職員



座学研修の様子（啓光えがお）

増え、事故対応や介護度が高くなつたことによる職員の業務過多が顕著でした。

そんな折、東京都から利用者の重度高齢化への対応力を向上させるため専門家支援チーム（理学療法士、言語聴覚士、施設職員等で構成）を派遣し施設の支援力強化を図る「東京都障害者支援施設等支援力育成派遣モデル事業」の支援を受けることになりました。

事業開始時に、支援チームがファシリテートし直接支援を行う全職員が話し合いを行い、「職員の負担を軽減し利用者と向き合う時間をふやす」とことと「食事場面における専門家の活用」という2つの目標を設定しました。また、職員目線にならな全体会で喜ぶ気持ちを生み、施設の雰囲気をより明るくしていきます。施設は、利用者さんにとって生活の場、職員にとっては働く場という違いはあります。が、誰にとっても心地よい場になってきたことがワーカメイトを受け入れた際に生まれた一番の効果です。

ワーカメイトたちは研修期間の終了後は、啓光ホーム等各事業所に配属されていきます。彼らの活躍が期待されています。

具体的には支援チームが現場に入り、第三者の目線から支援のヒントをもらつたり、職員とのディスカッションを繰り返したり、チームの言語聴覚士からの摂食指導や環境整備、嚥下専門医の開拓などのアドバイスを受けました。

■障害者支援施設等支援力 育成派遣モデル事業報告

ここ数年で、啓光学園では利用者の重度高齢化が進み、車いすを使うことになつた利用者や、転倒事故が

増え、事故対応や介護度が高くなつたことによる職員の業務過多が顕著でした。

そこで、東京都から利用者の重度高齢化への対応力を向上させるため専門家支援チーム（理学療法士、言語聴覚士、施設職員等で構成）を派遣し施設の支援力強化を図る「東京都障害者支援施設等支援力育成派遣モデル事業」の支援を受けることになりました。

事業開始時に、支援チームがファシリテートし直接支援を行う全職員が話し合いを行い、「職員の負担を軽減し利用者と向き合う時間をふやす」とことと「食事場面における専門家の活用」という2つの目標を設定しました。また、職員目線にならな全体会で喜ぶ気持ちを生み、施設の雰囲気をより明るくしていきます。施設は、利用者さんにとって生活の場、職員にとっては働く場という違いはあります。が、誰にとっても心地よい場になってきたことがワーカメイトを受け入れた際に生まれた一番の効果です。

ワーカメイトたちは研修期間の終了後は、啓光ホーム等各事業所に配属されていきます。彼らの活躍が期待されています。

具体的には支援チームが現場に入り、第三者の目線から支援のヒントをもらつたり、職員とのディスカッションを繰り返したり、チームの言語聴覚士からの摂食指導や環境整備、嚥下専門医の開拓などのアドバイスを受けました。

今回、モデル事業を受けた結果、業務軽減ができ、利用者さんと関わる時間を多少なりとも作り出すことができました。また職員一人ひとりが課題解決のプロセスを具体的に経験したことで、自分自身が課題解決の要であるという意識や自信が高まつたことも大きな成果となりまし

令和3年度 事業計画

【新規グループホームにワークメイト】 8月新規に重度対応型グループホーム「かりん」と「くらさわ」が整備されます。啓光ホーム全体では8ユニット49名の方々の生活の場となり、多くの生活支援員が必要となります。そのため、外国人の労働力を受け入れ、現在、ベトナム、ミャンマー、ネパールからワークメイト19名を迎える、啓光学園と啓光えがおで介護技術の研修を行っており、今後各事業所に配属していく計画です。

【虐待防止】 一昨年度起きた虐待行為を猛省し、

昨年度は権利擁護委員会の組織強化を図り、再発防止の視点から各事業所の支援業務を再検証し、業務改善に繋げました。今年度は、職員研修、事例検討、啓発のための取り組みなどを実行していきます。

【中長期計画の見直し】 平成31年3月に策定した計画は3年目を迎え、次期の計画に向けて見直しを行います。グループホームの整備、小規模児童施設の移転、利用者の高齢化・重度化への対応、等について検討していきます。

相談支援センター 啓光ホーム (計画相談) (グループホーム)

- ・利用者の高齢化や重度化に備え、介助用機器の導入、見守り機器や健常センサーの整備を図ります。
- ・日中活動のプログラムに温泉入浴や個別外出支援を組み入れる等、より多くの需要に応えます。
- ・毎月、イベント食として、外国料理や郷土料理を企画し、利用者に珍しい食事を提供します。

啓光えがお (生活介護)

- ・利用者の身の回りの安全性を高めるため、介護手順と生活環境を見直し、1人ひとりに応じた改善を行います。
- ・災害時や感染症流行における利用者の個別事情に応じた対応や在宅支援の充実を図ります。
- ・創作活動における利用者一人ひとりの役割を明確化し、生産活動への取り組みを高めます。

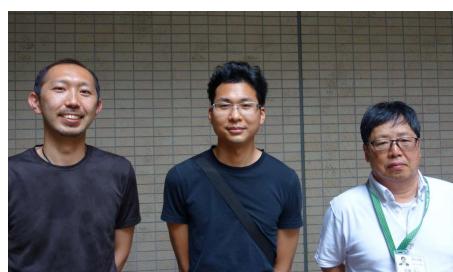
なかまの樹 (重心通所)

- ・利用者の身の回りの安全性を高めるため、介護手順と生活環境を見直し、1人ひとりに応じた改善を行います。
- ・災害時や感染症流行における利用者の個別事情に応じた対応や在宅支援の充実を図ります。
- ・創作活動における利用者一人ひとりの役割を明確化し、生産活動への取り組みを高めます。

啓光学園 (入所施設)

- ・利用者の高齢化や重度化に備え、介助用機器の導入、見守り機器や健常センサーの整備を図ります。
- ・日中活動のプログラムに温泉入浴や個別外出支援を組み入れる等、より多くの需要に応えます。
- ・毎月、イベント食として、外国料理や郷土料理を企画し、利用者に珍しい食事を提供します。

新人職員紹介



相澤職員

中山職員

佐藤副参事

啓光学園
生活支援係 生活支援員
相澤 亮

前職では入所施設の生活介護支援員を8年勤めていました。前職で培った経験を活かし、皆さんと一緒に楽しく過ごしています。よろしくお願いいたします。

啓光学園
生活支援係 生活支援員
中山 有人 (あると)

前職では入所施設の生活介護支援員を8年勤めていました。前職で培った経験を活かし、皆さんと一緒に楽しく過ごしています。よろしくお願いいたします。

啓光福祉会 施設担当副参事
佐藤 弘人

障害者施設で働くことは初めてですが、施設づくりや改修に関しては長年の経験を活かして頑張ります。

啓光学園
生活支援係 生活支援員
白土 貴裕

東京の障害者入所施設で、9年ほど働いていました。外出やお祭りが好きです。皆様の楽しい生活の為、頑張ります!

啓光学園
生活支援係 生活支援員
中嶋 那津美

今まで重度訪問介護で生活のお手伝いをさせていただいきました。施設は未経験ですが頑張ります。



白土職員

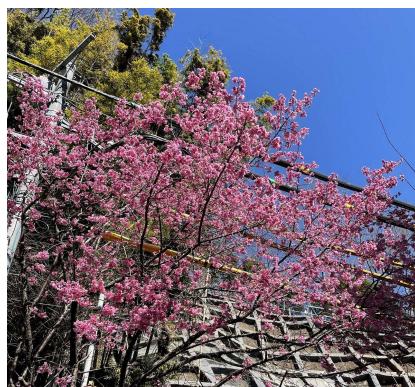
中嶋職員

山口職員

◇新しい仲間を迎えて、さらなる支援の向上に努めています。どうぞよろしくお願ひ致します。

啓光学園／兒童

令和3年3月に、阿佐見和城さんが都立多摩桜の丘学園の小学部、菅野大和さんが同校中学部、宮川颯太さんのが高等部を卒業しました。コロ



学園内の早咲きの桜も式当日に満開
卒業生を祝福していました



ナ禍のため、これまでの卒業式とは異なり規模を縮小して家族のみの参加となりましたので、啓光学園に戻つてから花吹雪等でさきやかながらお祝いさせていただきました。

進学される阿佐見さん、菅野さんは、4月からも桜の丘学園に楽しく通学してもらえたと 思います。4月から社会人になる宮川さんは、新たなステージで大きく羽ばたいてもらいたいと思っています。おめでとうございます。

啓光学園／成人

ネパール出身の、パラル職員と栄養士の発案で、3月7日の昼食にネパール料理を利用者の皆さんのが楽しむ会を開催しました。



左のお皿に乗っているのがアルダムとセルロティ
右がチキンカレー

炒めたもので、メジャーな家庭料理とのこと。セルロテイは、ネパールの各家庭でお祝い時に作るドーナツで、代々親から子に作り方を伝えていく料理だそうです（作れないところにいけないとのこと：）。

啓光学園／生活介護

いつもと違うスペイシーな料理を利用者の皆さん楽しんでいました。



皆さんで多摩川沿いを散策

た。3月から4月にかけて、少人の中市の郷土の森周辺に散策に行きました。桜や菜の花眺めながら軽食を摂り、のんびり過ごしました。コロナ禍で外出が制限される中、本当に久しぶりの外出で、利用者の皆さんのみならず職員共々笑顔が溢れ出ていました。



新成人の皆さんで集合写真

桜の花びらが風に舞い、好天に恵まれた4月3日、成人を祝う会・入所式を開催しました。

コロナ禍により何度も延期を重ねてきた成人を祝う会では、なかまの



早い時期のグループは桜の花探しを
楽しんでいました



今年度の入所式での一枚
新しい仲間へインタビュー

啓光えがお

樹の先輩や学校の恩師、関係各所からのお祝いの言葉をいただきました。親御さんへの心をこめた贈り物贈呈など、なかまの樹ならではのあたたかい式典となりました。入所式では、各人が心地よい緊張の中、立派に参加していただきました。コロナ禍の状況において、参加者に笑顔になつてもらえる式典を開催できることを職員一同心より嬉しく思います。

今年は、関係機関や担任の先生など来賓を招かずに、『入所式』のかわりに『入所歓迎会』で持田日生さんをお迎えいたしました。歓迎会は工作・デザイン班を中心企画し、他の作業班も一緒に準備しました。飾りの花を作ったり、歓迎の看板の文字を書いたりしているうちに、啓光え



散策しながら桜見物

啓光ホーム

がおの利用者さんは歓迎ムードで盛り上がっていました。当日は、工芸・デザイン班でミニ式典を行った後、持田さんは班長のエスコートで各作業班を回り大歓迎されしていました。保護者会からのプレゼントもあり、とても温かい歓迎会でした。持田さんは、1日も休まずに毎日元気に通勤しています。

○ご支援ありがとうございます○

皆さまから様々なご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・関東アイスクリーム協会様より | アイスクリーム |
| ・啓光えがお保護者会様より | 寄付金 |
| ・食品ロス・リボーンセンター様より | 備蓄食品セット |
| ・㈱ガイア様より | お菓子 |
| ・鹿島建設㈱ | |
| 鹿島ボランティアセンター様より | 文具 |
| ・㈱J-union 様より | 寄付金 |
| ・上原さゆり様より | フェイスシールド・アイシールド |



＜啓光福祉会 事業所一覧＞

- 啓光学園（法人本部）／知的障害者（児）入所施設
東京都多摩市和田 1717 TEL 042-375-7303
- なかまの樹／重症心身障害者通所施設
東京都多摩市和田 1730-3 TEL 042-356-4006
- 啓光えがお／知的障害者通所施設
東京都多摩市南野 3-15-1 ニ幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 1.2F TEL 042-376-5044
- 啓光ホーム／知的障害者グループホーム
 - ①啓光ホーム石村 東京都多摩市一ノ宮 4-27-12 TEL 042-339-7513
 - ②啓光ホームおおぐり 東京都多摩市一ノ宮 4-39-15 TEL 042-319-3380
 - ③啓光ホームいづみ 東京都多摩市和田 1721-7 TEL 042-401-9331
- 啓光相談支援センター／特定相談支援事業所
東京都多摩市南野 3-15-1 ニ幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 1F TEL 042-376-5044

新たな就労先に通う方、時差出勤を続いている方、通所手段が変わった方、コロナ前と同じ日中の活動の方に戻つた方など様々です。それぞれ悩みやストレスを感じてはいらっしゃいますが、新たな生活様式にも頑張つて順応してくださっています。今年の桜は早い開花でしたが、コロナ禍ということもありホームごとに近場の桜を見に出かけました。確かに桜は早い開花でした。それに比べて桜はまだ咲いていませんでした。それでも桜を見るのは、春の気分を味わう一つの楽しみです。

編集後記